

認知行動支援からの自然言語処理への期待

大武 美保子^{1,a)}

概要: 人工知能が人間の知能を育んだり、人間の知能と人工知能が相互に補完し合ってより高度な知能を実現したりする方法を明らかにすることが、これまで以上に重要になりつつある。講演者が主宰する理化学研究所認知行動支援技術チームでは、特に、社会生活を送る上で必要な人間の知能が損なわれる高齢者の認知機能低下と認知症を予防するために、認知予備力を高める認知行動支援技術を重点的に開発している。写真を用いた会話支援技術、共想法に立脚した会話支援 AI を開発し、認知行動支援システムに実装し、人間の認知面、心理面に与える影響を評価している。この中で、収集した会話データの処理や、会話データを利活用した対話システムの開発において、自然言語処理技術を活用する取り組みについて紹介する。そして、自然言語処理研究者との共同研究への期待について述べる。

¹ RIKEN Center for Advanced Intelligence Project

^{a)} mihoko.otake@riken.jp